

令和7年度 第3回 神奈川県立舞岡高等学校
学校運営協議会 議事録

《開催日時》

令和8年3月16日(月) 於 舞岡高等学校 多目的室 15:00~16:20

《出席者》

学校運営協議会委員 (8名/敬称略)

明治学院大学文学部教職課程主任教授	石井 久雄
舞岡自治会長	川上 浩
戸塚区役所保険年金課長	河合 利充
神奈川県立舞岡高等学校PTA会長	芹澤 順子
ひざり連合自治会長	宮島 由美子
神奈川県立舞岡高等学校長	宇田 雅則

舞岡高等学校 (9名)

副校長	桐谷 鋼哉 (司会進行)
教頭	清野 暁文
教諭 (学習支援G)	小塚 昌弘
総括教諭 (キャリア支援G)	大川 和裕
総括教諭 (活動連携G)	松野 幸成
総括教諭 (指導支援G)	小林 恒平
教諭 (学校管理G)	中込 圭佑
教諭 (広報・研究G)	林 明日佳

《欠席者》(3名)

南舞岡小学校長	地主 佐和子
日限山中学校長	馬場 理人
横浜スポーツ&ウェルネス専門学校	松尾 信

- ・協議会前に「総合的な探求の時間」の研究発表 発表者：2名(敬称略)

卒業生	3-1	和田 花梨	「なぜ実写映画化するとつまらなくなるのか」
	3-9	小椋 月矢	「殺処分以外にクマを処分する方法はないのか」

1 校長あいさつ

2 協議

舞岡高等学校の「学校評価報告書」「学校関係者評価」内の「達成状況」及び「課題・改善方策」について

[学習支援グループ]

- ・電子黒板使用により教員が板書する時間が減った分、生徒が主体的に考える時間に充てられるようになった。

⇒A I の進化により考える力が失われることを懸念、ノートをとるだけではない、考える力の促進、粘り強さを求めている。

[指導支援グループ]

- ・生徒指導は素行中心としたが、地域の方の支援、交通ルール、マナーなども指摘いただき、指導した、通学路は抜け道等あつてご迷惑をかけることもあつた。問題行動はほとんどなく、よし悪しを理解できる生徒が多い。教育相談も支援していく。

⇒部活参加数の増加はよい傾向、SSC 案件はあるのか。

⇒医療等外部機関とのつながりをメインに支援している。

- ・ひざり南舞岡小学校の児童の登校訓練を実施するが、見守りも毎日ではないので、各生徒教員の方々への指導をお願いしたい。

[活動連携グループ]

体育祭の実施、前年度からの準備、協議のみならず、応援や、団旗、団ごとの T シャツ等、新入生にも目を配ることができている生徒が多かった。文化祭では、体育館が新しくなったことにより、ステージ発表が大人数で実施可能となり活気があつた。花火等近隣の方にご迷惑をかけたこともあるが、生徒からの評判はよかつた。

⇒竹を使った地域貢献(マイタケプロジェクト)が喜ばれるので今後とも継続願いたい。

[キャリア支援グループ]

大学体験では、生徒を11校の大学に連れていき、授業を受けることで大学の雰囲気を味わつた。2年生は、専門学校、大学の方を招致して、学校の違いなどを明確にすることができ、今後の進路決定に役立てることができた。

⇒早くから目標を定められる生徒は、それに向かつてのびのび成長できるので早くから目標を見つけられるような指導を期待する。

[広報・研究グループ]

七夕、保育園や分教室との交流による連携強化、地域清掃活動参加、竹を活用した活動でのイベント参加、飲食店のメニュー考案にも取り組んだ。ホームページ等の活用により地域連携の取り組みを今後もアピールしていく予定である。

⇒PTAのページは、コロナの頃から更新されていない。写真や動画を提供していくので、充実し

たものにしていきたい。

[学校管理グループ]

6月に、50周年記念式典を実施したが、準備をしっかりと行えた。卒業式では、校歌伴奏希望者を募り卒業生全体で参加できてよかった。壁の掲示がはがされた件もあったが、環境美化の意識向上をさせていきたい。

⇒長時間労働の是正について、土日の部活動、平日の朝練など 地域移行は難しいのか。

⇒すべての部活動に当てはめるのは難しい。部活動をやることを働き甲斐に考える教員もいる。自分の専門外の部の顧問であればインストラクターを依頼する場合もある。

3 部会打合せ

それぞれ地域連携部会・学校評価部会に分かれ、意見交換を行った。

[学校評価部会]

・高大連携については、英語技能検定受検前の大学生によるサポートができるよう準備が進んでいる。教職課程の大学生にとっては高校生と交流できる機会となるので、どちらにとってもメリットがある。高大連携の協定を結んで大学体験を実施している高校もあるので、検討してもよいのではないか。

・部活動の活性化については、1年生の我が子が入学予定者の生徒に一生懸命に勧誘活動を行っていた。入学して1年が経過して、上級生になっていくんだなという実感がわいた。

・レポート作成時の生成 AI の利用の仕方については、高校も大学も同じ課題を抱えている。今後も協議会で話題にできるとよい。

[地域連携部会]

・ひぎり舞岡小学校に再編統合後の連携はどのようなものがあるか。

⇒バレー部等の体育館使用、通学路の交通安全に関する取組の連携等が挙げられる。

・地域の祭りでは若いアイデア、舞岡高校の竹に係る出店等を求めている。

・祭りの場では、以前ダンス部のパフォーマンスが、非常に評判が良かった。

・地域の避難訓練に、舞岡高校の生徒もぜひ参加してほしい。

⇒今後、教職員、生徒に広く呼びかけて、可能な協力を行っていく。

4 事務局から

校長よりお礼の言葉

閉会